



2018年4月20日

各 位

会 社 名 エスアールジータカミヤ株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮一雅
 (コード番号2445 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員
 経営管理本部長 安田秀樹
 (TEL. 06-6375-3918)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2017年5月10日に公表いたしました、平成30年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の連結通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,300	2,850	2,600	1,700	39.82
今回修正予想（B）	36,000	1,700	1,600	1,200	28.04
増減額（B－A）	△2,300	△1,150	△1,000	△500	
増減率（％）	△6.0%	△40.4%	△38.5%	△29.4	
（参考）前期実績 （平成29年3月期）	36,763	2,429	2,337	1,516	35.14

2. 修正の理由

レンタル事業につきましては、次世代足場「Iqシステム」は高稼働したものの、その他の建築関連機材、受注済みの土木・橋梁工事の着工遅れ等により土木関連機材の稼働が低調に推移致しました。その結果、売上高が当初予測を下回り、減価償却等の固定費増加をカバーできず当初の収益予測を下回る見込みとなりました。また販売事業につきましては、「Iqシステム」の販売において、他社次世代足場の参入もあり、新規ユーザー獲得が一時的に停滞したことに加え、中古機材の売上高が減少、利益率も低下傾向となり、当初の収益予測を下回る見込みとなりました。

以上の理由により、通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

（注）本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上